

2016年9月2日

「YKK80ビル」がBELS 最高ランクの「☆☆☆☆☆」を取得

当財団が実施しているBELS（建築物省エネルギー性能表示制度）評価において、「YKK80ビル」（YKK株式会社とYKK AP株式会社の新本社ビル／2015年6月竣工）が、最高ランクの「☆☆☆☆☆」を取得しました。

「YKK80ビル」は、世界標準の環境評価ツールの一つであるLEEDにおいて、オフィスビルでは日本初^{*}のLEED-CS（新築テナントビル部門）で最高ランクの「プラチナ認証」を取得済みであり、BELS評価においても省エネルギー性能の高さを証明する結果となりました。

※2016年3月1日時点



なお、評価結果の詳細については、一般社団法人住宅性能評価・表示協会のウェブサイト（<http://www.hyoukakyoukai.or.jp>）にて公開（9/20頃）いたします。

また、当財団によるBELS評価の実績は、2015年度以降の累計で52件（うち住宅46件、非住宅6件）となりました。

本件に関するお問合せ先

一般財団法人ベターリビング 住宅・建築評価センター 認定・評価部 担当：高山、水上
TEL:03-5211-0591 FAX:03-5211-0596 mail: info-ene@cbl.or.jp

YKKグループ 2016年9月1日付けニュースリリースより

https://www.ykk.co.jp/japanese/corporate/g_news/2016/20160901.html

【YKK80ビルについて】

YKK80ビルは「120年を目標とするアーキテクチャー」として、災害時に被害を最小限とする免震構造を採用しています。

また、一般的なオフィスに比べ、約60%のエネルギー削減^(※)をめざすために、省エネ・省資源に優れた「明るさ・人感センサー制御LED照明+タスク&アンピエント照明方式」、「中央熱源方式」、「外気冷房+外装シャフトのミスト設備」、「高性能コンセント設備」など、先進のシステムを導入した環境負荷に対応したビルです。

更に「放射パネル+デシカント空調+微気流」による快適な執務環境づくりや、働きやすいオープンなワークプレイスとするなど、様々なアイデアを盛り込んだ、シンボリックで存在感のある機能的なデザインとなっています。

YKK80ビル外観写真



《主な建物の特徴》

1. 災害に強い構造と設備
2. 一般的なオフィスビルに比べ、約60%のエネルギー削減^(※)をめざす
3. 放射パネル+デシカント空調+微気流による快適な執務環境
4. 働きやすいオープンなワークプレイス
5. 新しい「顔」をつくる機能的なファサードデザイン

(※)一般財団法人省エネルギーセンターが提示している「オフィスビル（自社ビル）のエネルギー消費原単位」との比較における目標数値であり、今回のBELS評価におけるエネルギー削減数値（46%削減）とは基準となる数値が異なります。

【YKK80ビルの概要】

名称：YKK80ビル
建築主：YKK不動産株式会社
所在地：東京都千代田区神田和泉町1番地
設計管理：株式会社日建設計
施工：鹿島・戸田・大和ハウス工業 建設共同企業体
規模：延べ面積 20,919.85 m²
建築物高さ 39.95m、最高部高さ 51.05m
地下2階、地上10階、塔屋2階
構造：SRC造、S造、RC造、免震構造
竣工：2015年6月